

本校では、月に3回程度、スクールカウンセラーに来ていただいています。  
今回は、スクールカウンセラーの取組について、紹介します。

保護者、教師、子ども・・・みんな

「こまったなあ。」「うまくいかないなあ。」  
「かなしいなあ。」「げんきがでないなあ。」  
「はらがたつ!」「どうしたらいいんだろう?」  
など・・・悩むことはあります。



そのような時に、話せず、しんどくなることもあります。自分の気持ちを話すことで、気持ちは少し、楽になることも多く、解決方法も見つかることもあります。

同僚、家族、友達、担任などに話すことは多いと思いますが、他にも相談できる場所、相談できる人の存在は、大切だと思っています。

そこで、スクールカウンセラーにも、その役割を担っていただいています。

### スクールカウンセラーの主な役割

- ・児童生徒の支援や指導に関する教職員へのアドバイス
- ・児童生徒の相談・カウンセリング
- ・保護者の相談支援

### 教職員へのアドバイス

授業等、児童生徒の様子を観察していただき、支援の方法や関わりについて、一緒に考えていただきます。

### 具体的な取組

#### 生徒のカウンセリング

- ・プレイセラピー（表現活動を通して、自分を表現する）
- ・好きな活動をしながら、自分について話すことを中心に取り組んでいただいています。

#### 保護者の相談

子育て相談をしていただき、子どもに関する不安等を聞いていただいています。9月、12月に実施していただきました。  
2月にも予定しています

### 多職種連携

教員・保護者・本人の関係だけでなく、スクールカウンセラー、子どもに関わる医師、心理士、福祉関係職員など、色々な人が関わり、子どものことを考えていきましょう。